

2002年5月の日本の天候

高温、多照（南西諸島）、寡照（東日本、西日本）

天気概況

この期間、北からの寒気の影響が少なく、太平洋高気圧の勢力も平年より強かったため、北日本、西日本、南西諸島では上旬を中心に高温傾向だった。しかし、中旬にオホーツク海高気圧が出現し、北日本と東日本では、一時低温となった。低気圧が東・西日本を通ることが多く、東・西日本では晴れる日が少なく、日照不足となった地方があった。一方、北日本と南西諸島では晴れる日が多く、少雨となった。10日頃に沖縄と奄美地方で梅雨入りしたが、梅雨前線の活動が不活発で梅雨入後も少雨傾向が続いた。

上旬：北日本と南西諸島では、高気圧におおわれ晴れる日が多く、高温・少雨・多照だった。東日本と西日本では、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、多雨・寡照だった。7日頃に華中にあった梅雨前線が次第に東に伸び、10日頃には華南から南西諸島に達して活発化し、沖縄地方と奄美地方が梅雨入りした。**旬平均気温**は、全国的に平年より高く、南西諸島では2℃平年を上回った。**旬降水量**は、北日本と南西諸島では平年より少なく、東日本日本海側と西日本で平年より多く、東日本太平洋側では平年並だった。**旬日照時間**は、北日本と南西諸島では平年より多く、東日本と西日本で平年より少なかった。

中旬：オホーツク海高気圧の影響で寒気が入り、北日本と東日本で低温となった。低気圧が本州付近を通過することが多く、東日本と西日本では曇りや雨の日が多かった。南西諸島では亜熱帯高気圧の勢力が旬前半に強く、高温となった。**旬平均気温**は、北日本と東日本で平年より低く、西日本で平年並、南西諸島では平年より高かった。**旬降水量**は、北日本日本海側で平年より少なく、西日本日本海側で平年より多く、その他の地方では平年並だった。**旬日照時間**は、北日本太平洋側、東日本、西日本で平年より少なく、その他の地方では平年並だった。

下旬：旬前半に、南西諸島と北海道付近を低気圧が通過し、まとまった降水があった。その後は、全国的に晴れる日が多く、少雨・多照だった。**旬平均気温**は、北日本、西日本、南西諸島で平年より高く、東日本で平年並だった。**旬降水量**は、北日本日本海側で平年並だったが、その他の地方では平年より少なかった。**旬日照時間**は、北日本で日本海側で平年並だったが、その他の地方では平年より多かった。

5月の気候統計

平均気温：北海道と東海から西日本、南西諸島で平年を上回った。特に北海道と四国、九州、南西諸島で平年を1℃以上上回り、さらに北海道の一部では平年を2℃以上上回ったところがあった。稚内（北海道）

で月平均気温の最高値を更新した。一方、東北から関東の太平洋側などでは、平年を下回った。

降水量：東北北部の太平洋側および南部、北陸、中国、九州北部などで平年を上回った。特に東北の一部、北陸の一部、九州北部の一部では平年の170%以上となったところがあった。一方、北海道、太平洋側の一部を除く東北北部、関東、東海、近畿、四国、九州南部、南西諸島などでは平年を下回り、特に北海道の太平洋側では、平年の40%以下となったところがあった。留萌（北海道）では月降水量の最小値を更新した。

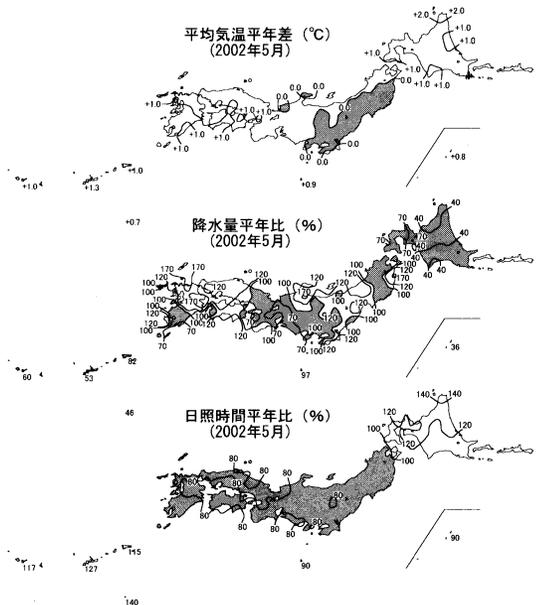
日照時間：北海道と南西諸島で平年を上回り、北海道の一部と南西諸島の一部で平年の140%以上となったところがあった。稚内（北海道）と沖永良部（鹿児島県）で月間日照時間の最大値を更新した。一方、東北から九州にかけては平年を下回り、東海や西日本などで平年の80%以下となったところがあった。舞鶴（京都府）で月間日照時間の最小値を更新した。

生物季節現象：ヤマツツジの開花が平年より早かった。

5月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温の高い記録（℃）
稚内 11.1
- ・月降水量の少ない記録（mm）
留萌 11.5
- ・日照時間の多い記録（時間）
稚内 263.9 沖永良部 212.4
- ・日照時間の少ない記録（時間）
舞鶴 134.2

2002年5月の平年差（比）図



注）陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す